

令和4年度 公の施設目標管理型評価書【旧小澤家住宅】

施設名	新潟市文化財旧小澤家住宅			
管理者名	(公財)新潟市芸術文化振興財団	指定期間	令和3年4月1日	～ 令和8年3月31日
担当課	歴史文化課			
所在地	新潟市中央区上大川前通12番町2733番地			
根拠法令	文化財保護法			
設置条例	新潟市文化財旧小澤家住宅条例			
施設概要	敷地面積 1,626.44㎡ 施設 木造2階建て 延床面積867.03㎡ 離れ座敷, 道具蔵, 次ノ間, 寢間, 藤ノ間, 座敷, 仏間, 茶ノ間, 百合ノ間, 情報案内所, 2階座敷, 庭園他			

施設設置目的	
旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとして発展してきた本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報を広く提供するとともに、それらを通じて市民相互の交流を推進し、市民文化の向上及び地域の活性化に寄与することを目的として設置する。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
<p>1. 基本理念</p> <p>「新潟市文化財旧小澤家住宅条例」に基づき、「みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する」という旧小澤家住宅の設置目的を達成するための各種事業を行う。</p> <p>施設の運営にあたっては、「新潟市歴史博物館・旧新潟税関庁舎等及び新潟市文化財旧小澤家住宅の指定管理に関する基本協定」「新潟市歴史博物館・旧新潟税関庁舎等及び新潟市文化財旧小澤家住宅の指定管理に関する年度協定」に従い、かつ各関連法規を遵守し、施設運営を通じて、新潟市の歴史文化施策の実現に努める。</p> <p>2. 活動方針</p> <p>①みなとまち新潟の歴史並びに生活文化を紹介する。 ②市民の歴史・文化に対する理解、親しみ、郷土への愛着を深める。 ③歴史・文化を媒体とした市民交流を行う。 ④文化財を保存・活用する。 ⑤新潟市の伝統工芸品の魅力紹介と販売促進に寄与する。 ⑥観光施設としての役割を担う。</p>	

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	年間入館者数	年間入館者数12,000人以上	13,400人	A	
	調査・研究の成果	企画展を年4本以上実施	「引札」展、「端午の節句飾り」展、「五姓田芳柳」展、「そば猪口に見るデザインー洗練された江戸時代の人々の感性ー」展、「みんなの問題・海のごみ」展、桜井進一氏写真展「新潟まつり」、「面白図柄古裂ーハイカラデザインの着物たちー」、2022年新潟郵趣会鉄道開業150周年記念展「時代と共に生きる切手の世界」、「新潟仏壇工芸」展、「ふろしきイマ・ムカシ・コレカラ」展、「カルタと双六」展、「ひな人形とからくり人形」展 (12件)	A	
		歴史に関する講座等を年5回以上実施	「古文書講座」4回、「庭園講習会」、「ふろしき講座」2回 (7回)	A	
		体験プログラムを年6回以上実施	「ふろしき自由研究」、「ふろしきファッションショー「フロコレ」、「新潟仏壇工芸ワークショップ」4回、「稲穂で作る正月飾り」、「クリスマスのミニアレンジ作り」、「フラワーアレンジメントワンディレッション」、「稲わらで作る正月飾り」、「朝ごはん会」2回、「からくり人形の実演」 (13回)	A	
	学校との連携	小中学校の団体を年2回以上受け入れる	中野小屋中学校、藤見中学校、上所小学校、白根第一中学校、小針中学校、目白山小学校 2回、放課後ディサービスオハナ魁 (8件)	A	
	歴史文化事業の情報発信	ホームページを月1回以上、ツイッターを週2回以上更新し、情報発信を行う	ホームページ更新24回 (月2回)、ツイッター平均月19.7ツイート (週4回以上)	A	
	来館者アンケート満足度	来館者に対するアンケートで、「大変良かった」「まあ良かった」が70%以上	「大変良かった」「まあ良かった」87%	A	
市民からの問合せに対する対応	質問・問合せには速やかに対応	質問・問い合わせには即対応した。落とし物・忘れ物の対応も迅速に行った。	B		

別紙6(旧小澤家住宅)

	苦情・要望に対する対応	苦情・要望に対して、3営業日以内に回答	大きな苦情・要望は特になかった。 細かな要望には即対応した。	B	
	ボランティア事業	ボランティア会員の活動日数を年100日以上実施	42日	C	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により活動が少なかった。
財 務	管理経費の削減	管理経費を指定管理料年度協定額（管理費）以下	協定額：32,868,130円 管理費：32,483,313円	B	経費の削減に努め、協定額以下に納めた。
	市の歳入確保	歴史文化事業費の執行額に占める観覧料等収入の割合70%以上	162%	A	
業 務	他施設との連携	他施設等との連携事業を年5回以上実施	新潟ハイカラ文庫3回、そば猪口美術館、一般社団法人JEAN、新潟仏壇組合、越後生紙組合、日本郵便株式会社新潟支部、新潟シティガイド、越後大郷からくり館、旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会（11回）	A	各種団体・施設と連携し、指標を大幅に上回る回数実施した。常設の展示品のみでは集客に限界があるため、積極的に連携を図ってほしい。
	日常連絡の適切さ	3か月毎の管理業状況報告の期限内提出	それぞれ7月20日、10月20日、1月20日、翌年度4月20日までに提出した。	B	
	安全確保体制の確立	防火管理者の選任及び防災訓練を年2回以上実施	防火管理者による消防訓練を1回、防災訓練を1回実施し、近隣の津波避難ビルまでの避難練習や、館内の消防設備の位置確認も行った。	A	
	文化財の適正な管理	条例、規則、協定等に基づく適正な管理の実施	文化財の適正な管理に努めた。	B	
	歴史資料の適正な管理	施設内での虫干し等を年1回以上実施	応接セットや節句飾りなど、展示を兼ねて収蔵物の虫干しを行った。	B	
	施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修の年1回実施	口頭で確認した。	C	
		施設設備関係の各種法定点検の確実実施	防災設備を2回点検した。	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	連絡体制の確立	職員・再委託業者の連絡網を作成し、閉館時の有事に備えて近隣の住民にも職員の連絡先を周知している。	A	
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	協定等に基づき、適正な管理運営を行った。	B	
人 材	配置人員条件の充足	学芸員有資格者を1人以上配置	1人配置	B	
	職員研修の実施	専門員及び事務職員に対する研修を年2回以上実施	インボイス研修、メンタルヘルス研修、法務・契約研修（3回）	A	指標を上回る回数実施した。
	接遇マナーの維持・向上	接遇研修を年1回以上実施	接遇研修1回実施	B	

指定管理者記載欄（アピールしたい事項・未達成項目への改善策等）

新型コロナウイルス感染症拡大下でも安心して楽しんでもらえる企画展や講座、イベントを多数開催した。入館者数は戻りつつある。新潟市の歴史・文化の魅力を市内外に広めることを目標に、多くの施設や団体と連携を行いながら、企画展や講座、体験プログラムを実施し、古文書講座など市民の学びの機会を提供している。

みなと町にいがたの町家の生活を感じられる施設として、活用を積極的に行いながら、新潟市の貴重な文化財を管理しているという意識を常に持ち、建物を良い状態で後に残すため、床磨きや除草など日々の手入れも欠かさず、外壁の塗り直しも少しずつ実施している。

新しい層の来館者を獲得するため、「食べる」「買う」など興味を引きやすい体験を絡めたさまざまなイベントも開催しており、写真に映える施設としての知名度も上がっている。結婚式の前撮りや七五三の撮影、イベント会場としての貸室利用も増えた。

庭園管理の面では、寄贈前から当庭園の管理に携わっている委託業者と意見交換をはかりながら、きめ細かい管理運営を行っている。新潟下町に根差した施設として地域のイベントにも積極的に協力し、連携を図っている。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 （ 所 見 ）

令和4年度は目標を上回る入館者となっており、理由の1つに新型コロナウイルス感染状況が落ち着き人の動きが活発となったことが考えられるが、小澤家の風合いに合うよう創意工夫を凝らしたイベントを実施するなどの館独自の集客対策も入館者が増加した要因と思われる。

「おやつの日」「夏至祭」など「食べる」「買う」など興味を引きやすいイベントを開催したことや、「ふろしき講座」「クリスマスのミニアレンジ作り」など「学び」「楽しみ」を提案する体験学習を開催したことなど、入館者増に対する工夫・努力が伺えた。

今後も、利用者ニーズの把握などを行い、幅広い集客対策を実施することを期待する。

コンプライアンス研修は口頭での確認ではなく、毎年1回の研修を実施してほしい。

貸室利用については、結婚式の撮り方やコスプレ撮影の実績があることから、撮影スポットとして知名度が上がっていることが言える。今後も積極的に貸室利用を推進してほしい。

今後も感染防止対策を行いながら、みなとまち新潟の基盤を築いた商家として魅力を十分に発揮し、引き続き企画展事業等に創意工夫をこらして、市民文化の向上及び地域の活性化に貢献してほしい。

評価基準

- A 要求水準（＝評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
- B 要求水準（＝評価指標）が達成されている。
- C 要求水準（＝評価指標）が達成されていない。